

さくらがさいた

作 あまん きみこ
絵 鎌田 暢子
出版社 文研出版

80年前、おばあちゃんと犬のクロは、満州から一緒に帰れなかった。孫のクミちゃんとお風呂屋さんの帰り、満開の桜の下で一瞬、クロが甦る…。
平和の尊さを伝えます。



ぎょうれつのできるチョコレートやさん

作・絵 ふくざわ ゆみこ
出版社 教育画劇

絵が可愛くて、2匹のお人好しのシマリス君とキタリス君がみんなの為にチョコレートやさんになるお話です。
森の動物達も笑顔でチョコレートやさんに集まる優しさが溢れる物語です。



ゾンビハムスターねずこ

作 原田 たけし
絵 嵯峨山 高弘
出版社 ワイヤーオレンジ/リーブル出版（発売）

亡くなったペットのねずこが夜な夜なゾンビ姿で現れるように…。
一見タイトルや絵は怖めですが、命には限りがあり、今を一生懸命生きるという大切さを教えてくれる絵本です。



もしぼくが鳥だったら
ーパレスチナとガザのものがたりー

作 ファーティマ・シェラフェツディーナ
絵 アマル
出版社 ゆぎ書房

「もしぼくが鳥だったら、この壁を越えていくのに」
かつてのユダヤ人たちの悲痛な願いは今はガザの人々の願いに。とても辛い本だけど今、読むべき一冊。



うちゅうじんはいない！？

作・絵 ジョン・エイジー
翻訳 久保 陽子
出版社 フレーベル館

はるばる遠くまで宇宙人を探しにやってきた主人公。はたして宇宙人はいるのかいないのか…
思わず笑ってしまうユーモア絵本。



どうぶつのこどもたち

作 小森 厚
絵 薮内 正幸
出版社 福音館書店

12匹の動物の子どもたちの遊ぶ姿が、愛らしく科学的に描かれています。
犬の子たちは、おいかけっこをして、馬の子たちは速さを競い、熊の子たちはすもうをして遊びます。

協力団体 北中島小学校 絵本☆とどけ隊、西三国小学校 ほうせんか、野中小学校 野の花文庫、木川小学校 おはなし倶楽部、木川南小学校くすくす、塚本小学校 おはなしポケット、神津小学校 絵本のくに、大阪アミューズメントメディア専門学校、大阪保健福祉専門学校、淀川図書館、淀川区子ども・子育てプラザ、淀川区社会福祉協議会

企画・運営 絵本展「ものがたりのちから」実行委員会　発行・問合せ先 淀川区役所市民協働課　電話：06-6308-9734

第16回 絵本展
ものがたりのちから

笑顔かがやく 絵本の世界

絵本を開くとたくさんの世界が広がっています。
ちいさいころに出会う絵本の世界は、大人になっても宝物。
キラキラワクワク宝物になるような、
そんな楽しいプログラムをご用意してお待ちしています。



この絵本リストを
参考に楽しく絵本を
選んでくださいね。





戦争をやめた人たち
ー1914年のクリスマス休戦ー

作・絵 鈴木 まもる　出版社 あすなろ書房

この絵本は第一次世界大戦中にあった実話がもとになっています。クリスマスの日、戦場で戦う兵士たちが起こした行動とは…。人を思いやる気持ちの大切さを感じるお話です。



カラーモンスター きもちはなにいろ？

作・絵 アナ・レナス　出版社 永岡書店
翻訳 おおとも たけし

うれしい、かなしい、不安…いろんな気持ちがごちゃごちゃになってしまったカラーモンスター。
そんなとき、気持ちの整理の仕方をやさしく教えてくれる絵本です。



ドーナツやさんはじめました

作・絵 関根 知未
出版社 教育画劇

たくさんのドーナツが登場します。どのドーナツを食べたいか考えながら読むのも楽しいです。失敗をポジティブに捉えるリスさん、ゾウさんの2人のやり取りにも、温かい気持ちになります。



ものものけしょくどう うらめしや

作・絵 たにむら のりあき
出版社 福音館書店

ものの け達が集う食堂には、「ほこりスープ」や「でんちにぎりずし」等思わずクスッとしてしまうようなメニューがずらり。
これはどんな味かな？想像力が膨らむ一冊です。



生きる

作 谷川 俊太郎　詩
絵 岡本 よしろう
出版社 福音館書店

谷川俊太郎の詩「生きる」が初めての絵本になり、情景が浮かんできます。
何気ない日常の中で生きていることのすべてを感じることができます。詩の中の言葉ひとつひとつから想像をふくらませてみて下さい。



ハロウィンのかくれんぼ

作・絵 いしかわ こうじ
出版社 ポプラ社

ページをめくる度に色々な形が出てくるしかけ絵本シリーズ。12冊の中からハロウィンをテーマにしたお話です。
ハロウィンにちなんだものが次々出てきます。



かぼちゃひこうせんぶっくらこ

作 レンナート・ヘルシング
絵 スベン・オットー
翻訳 奥田 継夫・木村 由利子
出版社 アリス館 or 童話館出版

大熊くんと小熊くんが拾ったタネを植えたら、どんどん大きなカボチャに。カボチャは船になり飛行船になり、楽しい冒険の旅が始まります。大熊くんと小熊くんのやりとりがほっこり楽しい、わくわくもつまったお話です。



ママはかいぞく

作 カリーヌ・シュリュグ
絵 レミ・サイヤール
翻訳 やまもと ともこ
出版社 光文社

ママは海賊の仲間と宝の島を目指して船に乗って、嵐や敵と戦っている。その実は…。作者が乳がんになったとき、幼い子どもたちに闘病についてどう説明しようか悩んだことがきっかけでできたお話です。



くらいくらい

作 はせがわ せつこ
絵 やぎゅう げんいちろう
出版社 福音館書店

暗ーい中に動物の黒い影が、、、電気のスイッチをつけると、パッ！！かわいい動物が登場します。次々と出てくる動物を当てるのも楽しいです。明暗のページが交互になっていてメリハリがあり、テンポもよく楽しめる一冊です。



おきにいりのしろいドレスをきて レストランにいきました

作 渡辺 朋
絵 高畠 那生
出版社 童心社

食事中に服を汚してしまった女の子。ショックで、さぁ大変。「擬音」だけで、お話が進んでいきます。「がが―ん」「ぞぞ―ん」「よろろ―ん」と声を出して読めば、大笑いしちゃいますよ。



にげてさがして

作・絵 ヨシタケシンスケ
出版社 ポプラ社

嫌なことからは、逃げていいんだよ。自分が大事にしたい人、相手も自分を大事にしたいと思ってくれる人は、自分の足で探して見つけるんだよ。ということを教えてくれます。



世界へのDOOR ―世界の国々イラストマップ―

作・絵 帝国書院編集部 編
出版社 帝国書院

2025年には、大阪・関西万博も開催され、世界のいろんな国を知ることができました。この本では、世界のすべての国々をイラストと地図で楽しめるので、さらに詳しく知ることができます。ぜひご家族みなさんで世界へのドアを開いてみましょう。



ひろしまの子 ―朗読詩―

作 四國 五郎
絵 長谷川 義史
出版社 BL出版

反戦平和に取り組んだ四國五郎の詩をもとに書かれた絵本で「朗読詩」とあるのは、声に出して読むことを目的とされています。戦争や核の問題を子供達と共に考えることが出来る一冊です。



おつきみおばけ

作・絵 せな けいこ
出版社 ポプラ社

やさしいおばけのシリーズ
お月見の夜親切なおばけちゃんが小さなうさぎちゃんをなぐさめようと四苦八苦する様子が、とてもかわいいです。
秋の夜長に親子でどうぞ。